

# 水戸あれこれ

## 任地に惚れています

「自分の任地を好きになりなさい」。

今年の3月下旬、日本橋の本店から当地に転勤する際、先輩や同僚からアドバイスをもらいました。ですが、私の場合は、「好きになろう」などと気合を入れる必要はありませんでした。なぜなら、水戸への異動を知る前から当地に惹かれていたのですから。

今年の1月、NHKの「ブラタモリ」で水戸の歴史や地形が紹介されました。元々、水戸藩の歴史に興味があった事もあり、翌月の「梅まつり」の際に当地を訪問。タモリさん御一行が歩いた偕楽園、弘道館や水戸城址を巡りました（今から思うと超定番コースです）。街の醸し出す空気が入ったので、いざれ再訪して、徳川ミュージアムや芸術館を回ろうと考えていた矢先、水戸への異動発令を受けました。不思議な縁を感じています。

当地に住み始めてもうすぐ半年になります。よく言われる事ですが、非常に住みやすい街です。一方で、当地の魅力は外部から見えにくく、実際に住んでみないとその良さが分からないのも事実です。

「個人的に感じる水戸の特徴点を挙げよ」と問われたら、「人口規模の割に、美術館・歴史館などの文化施設、学校・塾などの教育機関や総合書店が集積・充実している点」と答えます。長年かけて大日本史を編纂し、弘道館を設立した水戸藩の伝統が息づいているからでしょうか。街の気風が「インテリ」です。休日は、どこの図書館に行っても、勉強や読書に勤しむ学生や社会人で自習席が満杯です（需給緩和のためにも、市立中央図書館の再開が待ち遠しいです）。ここで、一つ白状しておく事があり

ます。自家をさいたま市に構えている事もあり、私は20年来の浦和レッズサポーターです。茨城県民になったとはいえ、鹿島アントラーズを応援するのは心情的にちよつと抵抗があります（お許しください）。その代わりという訳ではありませんが、水戸ホーリーホックを熱烈応援しています。週末は、都合が許す限り、ケーズデンキスタジアム水戸に通っています。J1ライセンスの取得に向けたハードルはありますが、今季の好調時の戦いぶりを見ると、J1の舞台で「いばらきダービー」が実現するのも、相応に現実味のある話だと思えます。

最後に仕事の話です。私どもの主な仕事は、茨城県における①銀行券の流通、②金融経済情勢の分析・情報発信、③金融広報委員会の事務局（金融教育や金融知識の普及）の3つです。この



日本銀行 水戸事務所  
所長 桑原 康二

うち、②と③については、県内全域を対象に出前講演（無償）を行っています。規模の大小や形式などは問いませんので、お気軽に当事務所までご照会ください。縁あつて任地となった水戸と茨城の発展に、中央銀行の立場から貢献できるよう努めて行きたいと考えています。よろしくお願ひ致します。



▲職場の有志でホーリーホックを応援。めざせJ1!